

ひとづくり

第7号

弓削商船高等専門学校 情報工学科 広報誌 2014(平成26)年10月発行



全国高専体育大会陸上競技で優勝

8月20日(水)、21日(木)に高知県宿毛市で全国高等専門学校体育大会陸上競技が開催され、四国地区大会を勝ち抜いた本校陸上競技部員8名が出場しました。そのうち、女子800mにおいて情報工学科3年の白川友理さんが、2分20秒22の記録で優勝しました。白川さんは、昨年度の同種目において惜しくも優勝を逃しており、今回見事に雪辱を果たしました。なお、男子400mでは、情報工学科5年の高原拓哉君が50秒61の記録で6位入賞をするなど、情報工学科の学生が大いに活躍しました。

情報工学科教員2名が高専教育論文賞を受賞



田房友典教授，葛目幸一教授らが連名で執筆した論文「メコン川における水深の三次元地形自動計測艇の共同開発－国際交流協定による文化交流・共同研究の実践－」が「高専教育論文賞」を受賞しました。これは，全国の高専における教育研究，学生指導，および留学生・国際交流について掲載した平成25年度論文集「高専教育」第37号の査読論文117編の中から選出されたものです。受賞理由として，国際交流協定に基づき実施された研究協力や技術協力の成果が述べられており，他高専においても，国際的に活躍できる技術者教育を行う際に，有益と思える知見が示されている点が挙げられています。表彰式は，8月26日に金沢市で開催された全国高専教育フォーラムにおいて執り行われ，代表で田房教授（写真中央）が出席しました。

就活女子対象の身だしなみ講習会を開催



4月16日（水），本校の5年女子学生を対象に，資生堂（株）から講師を招き，「身だしなみ講習会」が実施されました。この講習会は，社会人としての身だしなみや，職業人として兼ね備えるべき接遇態度などを身につけることを目的に実施されたもので，今年度で2回目の開催です。

学生は，レッスンを受けながら実際に就活メイクにチャレンジしました。学生にとってメイクレッスンを受けるのは初めての体験であり，非常に興味のあることです。全員，積極的に聴講し，和気あいあいとした場になりました。メイクレッスンの後は，社会人としてのお辞儀の仕方について学びました。学生にとって，今後の就職活動を行うにあたり，非常に有意義な講習会となりました。

2年生と4年生が航海実習を実施



7月22日，23日の2日間にわたって，情報工学科2年生を対象とした航海実習が実施されました。今年度の航海実習は小豆島で行われ，学生41名は練習船弓削丸に乗り込み，船のことを学びながら目的地へと向かいました。小豆島ではバスに乗り，手をつないだカップルは幸せになれるといわれる「エンジェルロード」や，500匹の野猿が生息する自然動物園「銚子溪お猿の国」などの観光名所を訪れました。また，オリーブ園や温泉などといった小豆島ならではの自然にも触れ，実りのある体験学習になりました。

なお，情報工学科では4年次でも航海実習を実施しており，今年度は4月8日から2泊3日で神戸と大阪に行きました。

就職講演会を開催



4月25日、(株)メンバーズ取締役兼常務執行役員、小峰正仁様を招き、情報工学科4、5年生を対象に就職講演会が行われました。

(株)メンバーズの紹介と5年生を対象とした模擬面接、面接の勘所を企業の側から説明していただくなど、就職活動を行う上で重要な心構えや考え方について教えていただきました。模擬面接では答えに窮するなど準備不足な部分もありましたが、本番さながらの緊張感をもって臨んでいました。

実際に就職活動中の5年生は、企業がどのような観点から学生を評価するのかを知り、これからの活動に生かそうと考えているようでした。就職活動を一年後に控えた4年生にとっても、就職を自分の問題として意識することができ、夏に控えたインターンシップへの参加に対しても意欲をもつことができたようでした。

高井神島でボランティア清掃を実施



6月27日、情報工学科1年生の学生有志が、「高井神島で海岸清掃、草刈ボランティア」を実施しました。高井神島は、弓削島から本校練習船「はまかぜ」で約30分の距離に位置する上島町の離島です。人口は37名、高齢化率80%を超え、港や集会所周辺の草刈りや海岸の清掃等生活環境の保全は、住民の方のみでは大きな負担となっています。そこで、元NPO法人グリーンキャンドウと島おこし協力隊員の方々の支援のもとボランティア活動を行いました。

当日は、高井神島までは「はまかぜ」で移動し、約1時間作業しました。終了後、学生達からは「楽しかった」、「気持ち良かった」などの感想が多く聞かれました。また、学生達は、高井神島の地区長さんから御礼のお言葉もいただき、梅雨空を吹き飛ばすがすがしい気持ちになったようです。なお、本ボランティア活動の一部は、「三浦保財団」の補助金により実施されました。

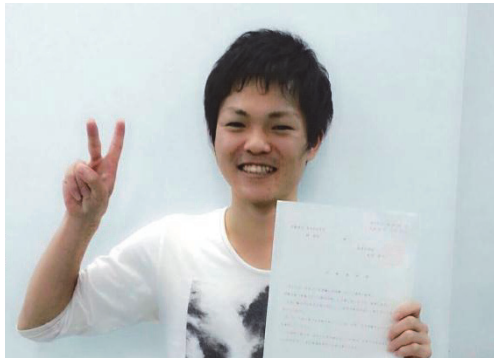
オープンキャンパスを開催



オープンキャンパスが7月26日、27日に開催されました。情報工学科の見学コースでは、学科の概要説明、創造性実験やプログラミング演習の作品、3Dプリンタの作品、レスキューロボット、iPadを使った模擬授業などの展示コーナーを設けました。猛暑にも関わらず2日間で延べ240名（生徒142名、保護者93名、その他5名）が参加されました。各コースを見学した参加者は、学生の作品を通して情報工学科の学習内容を理解していただけだと思います。

秋の商船祭（11月8日、9日）においても、学校説明会が予定されております。高専プロコン出展作品も展示予定ですので、興味のある方はぜひご参加ください。

国立大学編入学受験の体験報告



私は4年生の10月から10ヶ月間の受験勉強により、筑波大学と岡山大学の編入学試験に合格しました。この受験を通して、全力で物事に取り組むことの大切さを再確認することができました。

私は人に流されやすい平凡な学生でしたが、高専と大学を経て起業した方の言葉に共感し、今までの自分を変え進学したいと思うようになりました。しかし、元々勉強ができる人でなければ、ハイレベルの大学には行けないという考えがあり、すぐには行動できませ

ませんでした。葛藤の末、挑戦から逃げた未来の自分を想像し、成功を信じて猛勉強を始めました。

勉強を始めてから生活は激変しました。平日は、登校前の2時間と学校の休み時間を勉強に費やし、帰宅後は1日の復習をするという生活です。休日も平均8時間は勉強しました。周りに進学希望の仲間がいなかったため、常に一人での勉強でした。ネット上の合格体験を読む事や、学校行事を全力で楽しむことでモチベーションを維持しました。数学は参考書の問題を解きまくり、分からない所は先生に聞き、延べ30冊のノートを使い実力をつけました。英語では、勉強方法を自分で調べたり考えたりして取り組むことで、効率化を図りました。TOEICは、5ヶ月で290点から655点まで向上しました。学校の成績も頑張りました。分からない所は先生に直ぐに聞き、テスト前に焦って勉強しなくても良いように心がけました。その結果、4年の始め18位だった順位は、学年末に3位まで上がりました。

この成功は、自分の力だけでは成し遂げる事はできなかったと思います。例えば、猛勉強の末挑んだTOEICで予想外に低い点数を取った自分に呆れて、3日間寝込んだことがあります。そのとき、私の状態を聞いた友人が温泉旅行に連れて行ってくれました。わざわざ遠くから駆けつけて、励ましてくれる友人に勇気づけられ、再び受験勉強を始める事ができました。また、両親は、勉強漬けで疲れている自分に、はじめは一般入試より合格率が高い岡山大学の推薦受験を勧めましたが、岡山大学より行きたい大学があることを伝えると、それを素直に受け入れて頑張れと言ってくれました。私を信じ、応援してくれた両親がいたからこそこの合格だったと思います。他にも、解けない問題を教えてくれた先生方に加え、進路相談に乗ってくれた先生と友人など、本当にたくさんの人に支えられながらの受験でした。

私は、この体験を通して、今まで本気で取り組んでこなかっただけで、他にも自分にできることがあるのではないかと考えるようになりました。才能があっても、それに気づいていない学生が多いと思います。後輩には、何事にもやる前から諦めず、積極的に様々な分野に挑戦してもらいたいです。学生生活は、自分の可能性を信じて、将来の幅を広げるための時間だと思うからです。(情報工学科5年 林 真史)



国立弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000 番地

<http://www.yuge.ac.jp/> 0897-77-4620

題字：馬越 唯（平成23年度情報工学科卒業生）

コンピュータ教育を通して、社会に役立つ「ひとづくり」を目指します。